



関西大学経済・政治研究所 第11回公開セミナー

関西・大阪の社会経済問題の
歴史と現状研究班

「国際関係のなかの労働問題 — 両大戦間期日本とILO —」

2018年
1月12日 (金)
関西大学
梅田キャンパス 703室
14:00~18:00

※申込不要・参加無料



フランスにおける気鋭の日本労働史研究者ベルナール・トマン氏（フランス国立東洋言語文化研究所教授、東京外国語大客員教授）によるILOと日本の労働政策の歴史的関係についての講演を中心に、労働問題という「問題」の成り立ちについて、またその日本的な特徴について、現代日本の労働をとりまく諸問題理解への示唆を得るべく、ふたりの討論者とともに検討する。

講演（言語：英語）

ベルナール・トマン氏
(Bernard Thomann) フランス国立東洋言語文化研究所教授
東京外国語大学客員教授

討論者

金子 良事 法政大学大原社会問題研究所兼任研究員

黒川 伊織 関西・大阪の社会経済問題の歴史と現状研究班 委嘱研究員
大阪産業労働資料館特別研究員

司会

宇城 輝人 関西・大阪の社会経済問題の歴史と現状研究班 主幹
関西大学社会学部教授

※トマン氏の講演後、
講演者および討論者、
聴講者で行う議論は
日本語で行います。

お問い合わせ先

関西大学研究所事務グループ

〒564-8680 吹田市山手町3-3-35
TEL:06-6368-1179 FAX:06-6339-7721
E-mail: keiseiken@ml.kandai.jp